

# 『伊賀市史』 第6巻

## まもなく発刊！

市史編さんだより (16)

まもなく『伊賀市史』第6巻を発刊することになりましたのでお知らせします。

伊賀市史編さん事業は、市民の皆さんの郷土に対する誇りと愛情の上に、さらなる関心と深い理解を得るため、また、将来の伊賀市発展に向けて研究や学習の資料となることを目的に進めています。

今回発刊の『第6巻 資料編 近現代』は、本文1,061頁、巻頭写真22点、掲載点数623点の資料を収めたほか、近代の人口や行政区画の変遷をまとめた表、近代の村の範囲を示した図を付録として収録しました。資料は、明治維新前後から昭和50年ごろまでの文書や記録・新聞記事などから選んで掲載しました。



▲伊賀市所蔵の行政資料

内容としては、伊賀者や無足人たちのめざましい働きがみられた戊辰戦争や現代の行政組織の基礎となった明治22年（1889）の「市制・町村制」の実施、鉄道や道路の整備、学校教育の発達などの著しい変化がみられた明治期。上野市街のほぼ全域を巻き込んだ米騒動と大正デモクラシーの風が吹き込んだ大正期。世界恐慌や戦争のなかでたくましく生きる人たちの姿がみられた昭和前期。戦後の復興のなかで民主主義にめざめた青年たちの姿や、名阪国道開通によって大きく変化した昭和後期の伊賀地域の様子など、幅広い分野にわたります。

この『第6巻 資料編 近現代』からは、すでに忘れ去られ埋没してしまった事実や現在の礎を築いた先人たちの苦勞を知ることができます。

販売については、4月から購入予約の受付を開始し、6月には市内の書店で購入いただける予定で進めています。なお、5月末までにご予約いただいた方には定価5,000円を特価4,000円でお求めいただけます。

購入方法や頒布価格については、4月以降に市ホームページや書店でご案内します。詳しい内容については市史編さん係までお問い合わせください。

本庁総務課市史編さん係  
TEL 52・4380  
FAX 52・4381

## 今月の表紙

### 正月堂修正会

2月11日には地域住民が行列を作って餅などを正月堂に奉納する「練り込み」が行われました。

この行列は節句之頭と呼ばれ、今回は5つの節句之頭が参加しました。はじめにお堂へ到着したのは子ども達が参加する島ヶ原温泉やぶっちゃんの節句之頭でした。「エトウ・エトウ」という元気な掛け声とともに、わらや果物で作ったユーモラスな鬼の頭や餅などを納め、今年一年の豊作を願う数え歌を歌いました。

また、住職や寅年生まれの人元住民などによる餅まきが行われました。

境内に集まった参加者は、たくさんの福を授かろうと手を懸命に伸ばし、たくさんの福もちをもらい、とても幸せそうでした。

修正会は12日のたいまつ振りかざす達陀行法でクライマックスを迎えて終わりました。



市の花  
ササユリ



市の木  
アカマツ



市の鳥  
キジ

